
高校生活墮落説

ダメ人間

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

高校生活墮落説

【Nコード】

N6781C

【作者名】

ダメ人間

【あらすじ】

某有名私立大学附属高校に入学した俺は、その高校の中でも最も厳しいとされているアメリカンフットボール部に入部するのだが…

ブローグ

今まで生きてきた中で、こんなに朝日が嫌になった事はなかった。ほんの五、六ヶ月前はこんな気持ちになんかならなかった。

やがて訪れる

「高校生活」ってものに、まだ淡い期待をよせていたからだろう。そりゃそうだ、中学校の三年間を受験勉強に費やし、やっとの思いで第一志望校に受かったのだから…

それも今は昔っていうのかな？

とにかく高校に入学してから五ヶ月経った俺は、廃人と化していたのだった

第1話：始まり

心臓の鼓動と共に、僕の足は速まって行った。
心の中では

「早く結果を知りたい」という気持ちと、

「結果を知るのが恐ろしい」という気持ちとが絡まりあっていた。
そうこうしているうちに、

「ソウメイ早明大学高等学院入学試験合格発表会場」という看板が見えてきた。

「いよいよかあ……」

思わず独り言がもれた。中学校生活三年間を勉強に費やしてきたとはいえ、やはり100%の自信は持ち合わせていない。

「ハア、ああ1038番なあ」

さて、掲示板の前まできた。1008 / 1013 / 1018 / 1022 / 1026 / 1029 / 1032 / 1036 / 1038 / 1042……

「ヨッシャアアア！」

僕は周りを気にせず叫んでいた。そして、そのままのテンションで入学手続き書類を受け取るために事務所へ向かった。

「受験番号1038の中井夏斗です！」

「1038番、中井夏斗さんですね。合格おめでとございます。」

まだ信じられないような気持ちの僕は半信半疑で書類を受け取った。書類について少し説明を受けたあと、僕は事務所を出た。

「世界が変わって見えた……」使い古された表現だけど、今の僕の気持ちにはぴったりの言葉だった。

「合格おめでとう！」

そんな有頂天の僕はその言葉が自分に向けてのものだと、最初は気付かなかった。もう一度声をかけられ、僕は振り返った。そこには、早明学院の制服を来た学生が立っていた。まるでゴリラの様なガツシリとした人だった。

「あつ、ありがとうございます。あの、この学校の方ですよね？」

「当たり前だろ、どうみたってこの制服着てるじゃん。」

「ああ、そうですよね。あの、これからよろしくお願いします。」

「ああ。頑張れよ。この学校自由だけど、勉強は大変なんだぜ」

こんな短い会話だったが、僕は頼りになりそうな先輩だなあと思った。

歩いて行くその人の肩には、とても大きなエナメルバッグがかかっている、

「LIONS」と書かれていた。何部だろう？僕は、そう疑問に思った。

これが、僕が最初に釜田先輩と出会ったときである。

そしてこれが悪夢の始まりであった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6781c/>

高校生活墮落説

2011年1月12日16時07分発行